



sweets王子 ああめ! グレメ&スポット
お茶の京都

京都府南部12市町村を舞台に行われている「お茶の京都」スペシャルイヤーもメインシーズンを迎え、各地でさまざまなイベントが開催されています。

新名神高速道路平成35年度開通予定の宇治田原町は日本緑茶発祥の地。緑茶の祖と呼ばれる永谷宗円生家(復元)とその町並みは日本遺産です。

また、11月は町の特産品『古老柿(ころがき)』を作る『柿屋』も立ち並びます。皮をむいた「つるのこ」という渋柿を「柿屋」と呼ばれる棚に並べて乾燥させる独特の方法で作られます。青空に映えるその風景は晩秋から初冬の風物詩。

娘の姿で現れ、古老柿の製法を教えたと伝わる観音様をご本尊とする『禅定寺』や、「奥山に、紅葉ふみわけ鳴く鹿の…」を詠んだ猿丸太夫を祀る『猿丸神社』も訪れたいパワースポットです。

緑の茶畠を背景に色づく紅葉を見に足を運んでみませんか!?

秋を探しに・・・
新名神を利用して、ぜひお出かけください!

笑顔の
運転
drive with a smile.

DRIVE & LOVE
交通事故ゼロの社会を目指しています。
DRIVE&LOVE 検索
<http://drive-love.jp/>

高速乗るなら、まず
i Highway
ハイウェイ交通情報サイト <http://ihighway.jp/>

NEXCO 西日本のSA・PA情報はこちら
遊・悠-West
<http://www.w-holdings.co.jp/>



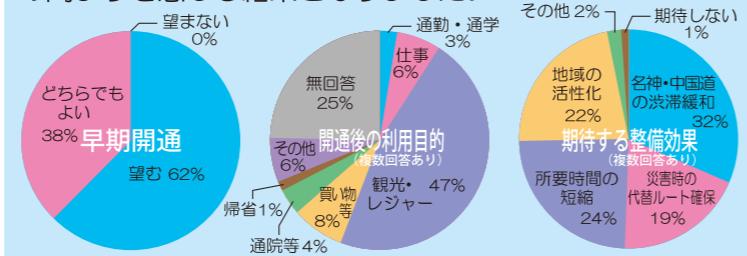
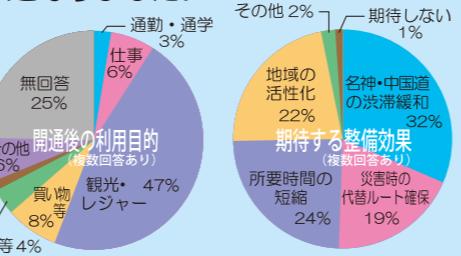
西日本高速道路株式会社
関西支社 新名神京都事務所

〒607-8034 京都市山科区四ノ宮泓37
TEL.075-595-4931(代) FAX.075-595-4884
URL <http://www.w-nexco.co.jp/>

淀川三川ふれあい交流納涼七夕まつり

『さくらでいい館』が新規オープンしますます賑わう、淀川三川ふれあい交流納涼七夕まつりに、今年も当事務所が出展し、新名神高速道路建設事業のPR活動を行いました。

アンケートは毎年行っていますが、災害時の代替ルートに期待する声が増加し、地元の皆さまの災害に対する関心の高まりを感じる結果となりました。



『城陽JCT・IC』 左方面：至 八幡京田辺JCT・IC 右方面：至 宇治田原町

Vol.19

新名神だより おこしやす京都

新名神高速道路(路線名：近畿自動車道名古屋神戸線)は、名古屋市を起点として神戸市に至る174kmの高速道路です。名神高速道路、中国自動車道など周辺の高速道路とともに、近畿圏と中部圏を結ぶネットワークを形成します。これにより高速道路に求められる[高速性][定時制][快適性][安全性]などの機能を高めるとともに、沿道及び西日本の広域医療・観光・文化交流など地域の経済・住民生活への貢献も期待されます。

新名神京都事務所では、京都府域の17.7kmを担当しています。今年4月開通の城陽ジャンクション・インターチェンジから八幡京田辺ジャンクション・インターチェンジ間はそのうちの約3.5km。京奈和自動車道と第二京阪道路とが直結しました。また、2023年度には新名神高速道路の全線開通を予定しています。引き続き残りの区間を、安心・安全に工事を進めてまいります。

TOPIX 新名神高速道路 城陽～八幡京田辺間 開通に伴い、物流・産業拠点の整備が進んでいます！

新名神城陽JCT・ICの開通とあわせて、城陽市の土地区画整理事業による新市街地整備が進められています。

城陽市によると、造成工事の現況として、全12区画(13社)のうち6区画(7社)が引き渡し済みとなっており、残り6区画についても年度内に引き渡し予定となっています。

8月には城陽市中心部と城陽ICや新市街地を結ぶ新たな都市計画道路塚本深谷線も開通し、ますますアクセスも良好になりました。

城陽ICの北側に建設中の日本郵便の大型拠点(京都郵便局)は、来年2月の開局に向けて建物の工事が進んでいます。今後も物流拠点や工場、商業施設が続々と完成していきます。

企業進出により、全体で約1,700人の雇用者を見込んでおり、7月及び9月に城陽市などが実施した就職を希望される方への企業説明会も延べ300人を超える来場があったそうで、今後も注目が集まりそうです。



城陽IC北側を南より望む(写真：城陽市提供)

